

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果について

平成28年11月28日

白馬村教育委員会

本年4月19日に実施した「全国学力・学習状況調査」について、今後の教育活動に役立てるため本村の結果を分析しましたので、その概要をお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査対象

- ① 小学校第6学年 (調査実施人数 69人)
- ② 中学校第3学年 (調査実施人数 76人)

(2) 調査内容

- ① 教科に関する調査
 - ・主として「知識」に関する問題(国語A、算数・数学A)
 - ・主として「活用」に関する問題(国語B、算数・数学B)
- ② 質問紙調査
 - ・児童に関する調査
 - ・学校に関する調査

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果の概要

【小学校(6年生)】

- ① 国語Aは全国平均正答率と同じ結果でした。
国語Bは全国平均正答率をやや下回る結果でした。
- ② 算数Aは全国平均正答を下回る結果でした。
算数Bは全国平均正答率をやや下回る結果でした。

【中学校(3年生)】

- ① 国語Aは全国平均正答率をやや上回る結果でした。
国語Bは全国平均正答率と同程度の結果でした。
- ② 数学Aは全国平均正答率と同程度の結果でした。
数学Bは全国平均正答率と同程度の結果でした。

(2) 各教科の調査結果の概要

【小学校(6年生)】

- ① 国語
 - 主として知識を見る「国語A」における領域別結果では、全国に比べ「書くこと」がやや高く、「読むこと」がやや低いとの結果でした。また、主として活用力を見る「国語B」では、「読むこと」が全国と同程度で、「話すこと・聞くこと」が低いとの結果でした。

今後、「読むこと」の領域では、登場人物の人物像を複数の叙述を基に捉える学習の充実や、「話すこと・聞くこと」の領域では、相手の意図を捉えながら聞いたり、話の展開に沿って質問したりする学習の充実が求められます。また、要旨をまとめるなど、文の大意やキーワード、ポイント把握等の学習が必要と考えられます。

② 算数

主として知識を見る「算数A」の領域別結果では、「数と計算」、「数と測定」、「図形」、「数量関係」の各領域において全国をやや下回る結果でした。また、主として活用力を見る「算数B」も同様の結果でした。

今後、数量や図形についての知識・理解・技能の確かな定着を図る指導の充実や、活用力の向上に向け、自分の考えを書いたり、友だちの考えと比べたりする活動や、日常生活の問題の解決のために必要な情報を収集し、目的に応じて表やグラフを用いて表したり、適切な判断をしたりする学習の充実が求められます。

【中学校（3年生）】

① 国語

主として知識を見る「国語A」の領域別結果では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4領域とも全国をやや上回る結果でした。特に「書くこと」は高い伸びが見られました。また、活用力を見る「国語B」の調査結果では、「書くこと」、「読むこと」とも全国と同程度の結果でした。

今後、「読むこと」の領域においては、文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる学習の充実が求められます。

② 数学

主として知識を見る「数学A」の調査結果では、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料活用」の各領域とも全国と同程度でした。また、主として活用力を見る「数学B」の調査結果でも同様の結果でした。

今後、「図形」の領域においては、筋道を立てて証明したり、見いだしたことを数学的な表現を用いて説明したりする学習の充実が求められます。

(3) 児童生徒質問調査の結果（特徴的な事項について）

【小学校（6年生）】

① 生活習慣について

「朝食を毎日食べている」本村児童の割合や「午後10時以前に就寝する」本村児童の割合は全国を上回っています。また、「毎日同じくらいの時刻に寝ている」児童の割合も9割程を占めており、本村児童は比較的規則正しい生活をしていることが伺えます。

② ゲームやメール等の使用時間について

「テレビやビデオ等を3時間以上視聴している」本村児童の割合は全国を下回っています。反面、「ゲームを2時間以上している」本村児童の割合は全国と同程度ですが、昨年度に比べると増加しています。また、「通話やメール、インターネットを2時間以上している」本村児童の割合も全国と同程度ですが、昨年度に比べると増加しています。

本村児童のゲーム及び通話やメール、インターネット使用の長時間化が、昨年度に比べ

進んでいます。インターネットの安全な利用に向けての取り組みを、今後さらに進めていく必要があります。

③ 家庭学習について

「学校の授業時間以外で2時間以上学習をしている」本村児童の割合は全国を下回っています。また、「家で学校の宿題をしている」本村児童の割合は全国と同程度ありますが、「家で学校の授業の予習をしている」及び「家で学校の授業の復習をしている」本村児童の割合は全国を下回っています。

本村児童の家庭学習は、宿題をきちんと行っているものの、復習や予習をする時間は全国と比べると少ない状況にあり、このことが全国より学習時間が少ない原因の一つと言えます。今後、学校・家庭が協力して家庭学習の充実を図る取り組みを進めていくことが望まれます。

④ 読書について

平日「学校の授業時間以外で1時間以上読書をしている」本村児童の割合は全国をやや上回り、「授業以外に図書館に週1回以上行く」本村児童の割合は全国を上回っています。また、「読書は好き」と回答している児童も全国を上回っています。

本村児童は本に触れる機会が比較的多いと言えます。本村では今年度より学校毎に司書を配置し、児童の読書環境整備に努めているところです。

【中学校（3年生）】

① 生活習慣について

「朝食を毎日とっている」本村生徒の割合は全国を上回っています。また、就寝時刻では、「午後11時前に就寝している」本村生徒の割合も全国を上回っています。本村生徒の場合、規則正しい食事や早めの就寝がきちんとできていると言えます。

② ゲームやメール等の使用時間について

「テレビ等の視聴を3時間以上している」本村生徒の割合は全国と同程度ですが、昨年度に比べると減少しています。反面、「3時間以上ゲームをしている」本村生徒の割合は全国を上回っており、「通話やメール、インターネットを3時間以上している」本村生徒の割合も全国を上回っています。

本村生徒の場合、テレビ等の長時間視聴が減る反面、ゲーム及び通話やメール、インターネット使用の長時間化が進んでいます。基本的な生活習慣の乱れやゲーム・ネット依存に陥らないためにも、インターネットの安全な利用に向けての取り組みを、今後さらに進めていく必要があります。

③ 家庭学習について

平日「学校の授業時間以外で2時間以上学習をしている」本村生徒の割合は全国を下回っていますが、昨年度に比べると増加しています。また、休日「2時間以上学習をしている」本村生徒の割合は全国と同程度であり、昨年度に比べると増加しています。

本村生徒の場合、休日の学習時間が昨年度に比べ増え、全国と同程度となってきています。また、平日の学習時間についても、全国に比べまだ低いものの昨年度より増加しており、家庭学習の充実が図られてきていることが伺えます。今後、予習や自分から計画を立てて行う学習の充実が望まれます。

④ 地域との繋がりについて

「地域の行事に参加している」本村生徒の割合や「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」本村生徒の割合は全国を上回っています。また、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」本村生徒の割合も全国を上回っています。

中学校では、地域に関わる様々な学習を展開したり、村のイベント等への生徒のボランティア参加を積極的に進めています。地域へ積極的に関わっていることが、本村生徒の地域への関心の高さを育んでいるように思われます。

3 今後の取り組み

(1) 学力向上のための取り組み

学校では、今回の調査結果を分析し、自校の課題を明確にししながら、学力の向上に努めます。また、本村で設置している学力向上対策委員会において、本村児童生徒の実態に応じた学力の向上のための方策について検討し、具現化を図っていきます。

① 授業改善

- ・ねらい、めりはり、振り返りを意識した日々の授業
- ・互いに聞き合い、伝え合う活動を基盤として、共に課題を解決したり自分の考えを深めたりすることができる学習活動を位置づけた授業

② 授業におけるICT機器の活用

- ・授業における基礎的な知識や技能の習得の場面と、習得したことを基に活用する場面でのICT機器の活用
- ・電子黒板、デジタルビデオカメラ、タブレット等のICT機器の配備

③ 学力の定着

- ・ティームティーチング、少人数学習の実施
- ・ドリル学習の内容の充実（小学校）
- ・放課後学習の実施（中学校）

(2) 学校の教育課題に対する支援

それぞれの学校の教育課題に対応した支援に努めます。

- ① 村費による特別支援教育支援員や学習支援員の配置
- ② 信州型コミュニティスクール（地域の教育力を生かした学校教育）の導入

(3) 家庭生活の充実のための取り組み

児童生徒への質問調査では、ゲームやスマートフォン・インターネットの長時間化、家庭学習の少なさ等が課題となっています。児童生徒が、学習・ゲーム・運動や読書等をバランス良く配分して家庭生活を過ごすことができるよう、保護者と協力して生活づくりを進めます。

① 家庭学習の充実

- ② 白馬村青少年育成会議・PTA連合会・教育委員会が一体となって進めている、「インターネットの安全・安心な利用」の取り組みの充実